



熊本大学応援団
OB会だより
(第3号)
第26回OB会特集号
2018年12月10日発行

OB会の一日

今年は何十年ぶりに武夫原での基礎練習も取り入れ、60歳代から40歳代までの約20人が武夫原での楽しいひと時を過ごしました。300mトラックをゆっくりと2周ランニング、発声練習、しこ立ち、お手々フリフリ、演武の練習などなどで、休憩時間を含んで1時間20分も武夫原のグラウンドで汗を流しました。遊び心でやってもいいのに、いざ練習となると無言で一生懸命取り組むのは、昔の気持ちに戻ってしまうからでしょうか。真面目さが熊本大応援団らしいと再認識しました。

なお現役の演武を12時と15時の2度見る



ことも出来ました。やはり、リーダー部が1人から4人に増えたことは、とてもうれしいことでした。懇親会は、メルパルク熊本に移し、約40人のOBと、現役16人が集い楽しいひと時を過ごすことができました。余興としてOBと現役の演武は大変盛り上がりしました。今回の幹事の第14, 15, 16代の方でした。まとめ役をしてくれた渋谷(16代)さんに感謝です。来年は11月2日(土)の開催です。幹事は第17, 18, 19代です。どうぞよろしく。

**「熊本大応援団OB」で検索すると
応援団のHPヒットします**



第26回OB会を迎えるにあたって 会長 河村 久幸

第26回熊本大学応援団OB会を開催いたしましたところ、多数また遠方から参加頂きましてありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今年新入団員がリーダー部に3名、チアリーダー部に7名入部し、OBとして大変嬉しく、応援団に新しい希望の光が灯った気がしました。OB練習、紫熊祭での演技見学、総会も無事に終わり、懇親会ではOBと現役との演武披露、1年生の市原リーダーによる「必勝の歌」、中村団長のリーダーによる「第一学生歌」、松元さんの太鼓、蓮池さんのバックの歌と演武もいずれも見事なものでした。



なお、顧問の中川先生が熊大教授退官され顧問も退任されました。後任顧問に

は大日方(オビナタ)先生が就任され、懇親会でご紹介させていただきました。引き続きご指導を賜りたいと思います。



(上の写真はオビナタ先生)

今回も欠席者のうち約90人からは運営費納付という形で協力していただきました。皆様の応援団に対する愛情の深さを感じます、本当にご協力ありがとうございます。

OB会は今後も金銭面や行動面から現役を力強く支援していきたいと思えます。今まで同様、ご理解とご協力お願いいたします。また今回のOB会開催に当たり中野副会長はじめ役員の皆様の頑張りに深く感謝します。ありがとうございます。

15時40分から昔の知命堂の「くすの木会館」での総会を開催しました。議案1号2017年度事業会計報告、同2号2018年事業予算は原案通り承認されました。詳しくは総会資料を参照してください。

また、OB会活動のアンケート調査報



総会報告

告も行い参加者で協議も実施しました。OB会としてのテーマは「団員の確保、どこまでOB会として取り組むか…、チアOがOB会活動への理解や参加増やすことができるかどうか」です。協議結果は、『現役の勧誘活動を温かく見守ろう、財政的支援、現役との情報交換、年一回のOB会を継続しよう、チアOGの参加しやすい条件整備やチア独自の活動も取り込もう』などを共有した。大変有意義な協議でした。

参加者のメッセージ

平原 一幸 (20代)

今年もまたOB会に参加させていただきました。自分は自分の元気と若さを取り戻そうと、これまでも積極的に参加してきましたが、今年もたくさんの元気と若さをもたらすことができました。特に今年は現役団員とコラボした演武、懐かしの武夫原での練習など、忘れられないものになりました。いよいよ再来年が自分たちが幹事の代になるので、組織固めを少しずつ行っていきたいと思います。



山岸 真美子 (35代)

今年は紫熊祭とOB会同日開催でした。その為、多くのOBの皆様に見役の演技・演舞を見て頂くことができ、現役生もとても喜んでました。見て頂く方一人ひとりが力になります。やはり実際の活動をお見せすることが現役活動の一番の報告の場でもあり、交流の場でもあると感じました。来年も紫熊祭期間にOB会開催となります。来年もぜひ多くのOB方に現役の姿を見て頂ければ幸いです。



椎島 正利 (19代)

まず、事務局長にもかかわらず、総会に参加できなかったことをお詫びいたします。また、中野さんにすべてお任せ状態だったこと、今後はもう少し頑張っ

てまいります。懇親会のみでの参加となりましたが、特筆すべきは、現役と合同の第一、必勝の演武でしょうか。やっぴい、だんだん力が湧いてきました。とても楽しい瞬間でした。(OB38名参加)

来年は、17-19代が幹事となります。どんな情報発信して、参加してみようと思っただけのよう努めてまいります。次回は、11月2日(土・3連休初日)です。またお会いしましょう。

井手口 遥 (33代)

今年も無事にOB会に参加でき、しみじみと自分の恵まれた環境を有り難く思いました。自分を含め、近い人たちの健康、理解、協力がなければこうやって参加することは難しいでしょう。一年に一度ですが、元気な皆さんの顔が見られて、また、現役生にもパワーをもらえてとても楽しい時間を過ごすことができました。OB会から帰ると、子ども達が待ち構えていてまた日々の戦い(?)に戻ってしまいましたが……。ふと、子ども達



が大きくなって、自分に時間的余裕ができた時、誰に会いたくなるか??と考えると、やはり大学時代と同じ時間を過ごした皆の顔が浮かびます。今は私も含め多くのチアOBが、仕事に家庭に家事、育児、ついでに旦那の世話やら介護等々…ほんと、疲れちゃいますよね!!

ほんの少し隙間時間ができた時、応援団のHPをのぞいてみたり、昔の写真を見たり、現役生の活躍を見てみたり、きっと元気もらえますよー!頑張っている人達に会うと、不思議と自分も頑張ろうと思います。OB会参加者の平均年齢は高めですが、皆さん本当に元気!そして若い!私なんかよりずっと若々しいの

で、私はいつも元気をもらっています。チアOBの方々へ⇒来年でも再来年でも、きっと参加していると思うので、都合がつく時が来るまでお待ちしています☆☆

吉岡 秀記 (14代)

初めてOB練習に参加しました。シコダチが全くできませんでした。1年後は体重を20キロ落として再挑戦です。今の所、10日で4キロ落としました。現役の演武も中々かつこ良かったです。チアも良かった。

林 和徳 (6代)

何年振りか夫婦で参加しました。妻曰く、熊本まで来たのだからどこか観光したいということで、熊本城と水前寺公園を見に行くことにしました。まず市役所14Fの展望ロビーから城の全貌を見た後、散策し加藤神社から、最優先で復旧が進められている天守閣を見ました。白い漆喰が陽を浴びその白さが一層際立ち姫路城の修復直後の姿と重なりました。途中、石垣の石はあちこちに置かれ、櫓や城門は未だ手付かずの場所もあり、復旧にはこの先膨大な時間を要するであろうと思いました。城の一般公開される2021年のOB会も是非参加し、また城の外観・内観をしたいものです。



次に水前寺公園を訪ね、水が無くなった池から水を湛え復活した風景を見て数ショット。よい画材が得られたと妻は満足気でした。

OB会には体育館での演武見学、リーダー部・チアリーダー部それぞれが熱の

こもった躍動的な演武を演じ、私は元より一般の観客の皆さんも感動していました。総会は事務局の事前の準備・広報のおかげで審議・討議ともにスムーズに進行し無事閉会となり、徒歩で久しぶりの顔ぶれと懇親会場まで、昔ばなしをしながら子飼商店街を歩いて向かいました。

1年ぶりの顔、久しぶりの顔、懐かしい顔顔顔……。アツと言う間に閉会の時を迎え、さらなる懇親は2次会へ持ち越しました。

楽しい1日に感謝。今年、各部ともに1年生が複数入団し、これからの団発展の大きな力となることでしょう。団発展を祈念しています！

天本 真臣 (18代)

先日のOB会に参加させていただきました。現役のチア、リーダーを間近で見るのは久しぶりなので、早めに大学へ向かいました。いつもと違う芝生の上での演技で大変だったようですが、それでも最後まで笑顔を決やさず懸命に演技する姿に、自然と目頭が熱くなりました。現役の皆さん、素晴らしい演技をありがとう。懇親会では、現役リーダーとOB有志が一体となつての演武で大盛会となりました。幹事OBの先輩方はじめお世話いただいた皆様に感謝申し上げます。

今回は17、18、19代が当番幹事となります。今はまだ白紙ですが、皆さんが参

加して良かったと思っただけけるようこれから企画していきますので、幹事の皆さんのご協力をお願いします。

一昨日の演武伝達練習で、体が凝りまくりです。OBもかなり鍛えられますが、苦しさや爽快感を同時に味わう、不思議な感覚を味わっています。



OB会活動へのアンケート集計

①OB会での新入生確保の手段は

OB会としての取り組みは難しく、現役が主体的に考えることが基本との意見が多かった。OBで出来るのは経済的支援…。また、大学や体育会本部への協力要請も必要という意見もあり。女性団員確保の方策の意見もあり。2018年度の新入部員はリーダー一部3人の成果があり、OBとしてバックアップしていこうとの意見が一致した。

②演武伝達練習(講習)は

演武伝達引継ぎは是非実施して欲しいという意見が多い。そのため、9月から役員会を中心に伝達練習を月2回ペースで実施している。OBと現役のコミュニケーションが高まっている。

③OB会は毎年、隔年?

事務局負担の軽減のために隔年開催の意見もあるが、圧倒的に毎年開催の意見が多い。応援団存続の危機であり、現役とのコミュニケーション維持のため年一回は必要との意見多数あり。そのため、年一回の現状の開催方法を踏襲していくことで意見が一致した。

④60周年記念事業は実施する?

内容は50周年より規模は小さくても60周年はやろうという意見が多かった。また、高齢化や事務局負担の軽減のために無理にしくなくてもよいという意見もあり。結論とすれば、OBのための周年事業でなく、応援団継続した結果の周年事業をOB会が主催する。当面は団存続に向けて全力で取り組もうと意見が一致した。

⑤OB会としての新規取り組みは

現役支援の中でOB会としての取り組みを考えていこうという意見があり。九州応援推進ネットワーク演武会への応援参加や演武伝達練習には賛同者多く今後も活動の中心にしていくことで意見の一致をみた。

⑥OB会の在り方、チアOGの参加は

チアOGが参加しやすい環境づくりが必要との意見が一致した。ただ、出席者が増えるような妙案はなく難しいとの意見が多い。可能な限り、チア部だけでOBが集まる機会を設け、自分たちで考えることも必要との意見も出た。

編集後記

熊本大応援団OB会の目指すものは何だろうか? OB会に参加してみんなが楽しいと思うこと。でも楽しかった人ばかりではOB会は成りたない。楽しさを演出する人が必要だ。企画を考えてくれた幹事、一生懸命にOBとの演武コラボした現役団員、そして役員も支えてくれた。多くのOBが楽しさを支える側に来て欲しいと望む。

また、楽しさを超える「生き甲斐」も目指したい。OB会に参加して明日への力が湧いてくることも大切だ。個人の人生は別々で、価値観も違うのは当たり前、でも大学4年間の団生活は時代を超えて同じ経験だ。50周年の記念演武練習での一体感は、生き甲斐につながるものだったと思う。ただ、それは参加した者にしか感じられない。だからOB会に参加していない人達に参加してもらいたい。そのために、役員は出来るだけ多く情報提供をすること、個々のOBは同期への働きかけをこまめに行うこと、これをお願いしたい。現在平均40人の参加者であるが、2倍の80人になるのが夢だ。来年は11月2日(土)に開催が予定されている。OBが互いに声を掛け合って多くのOBの皆さんが参加されること望む。

(中野)

現役への演武伝達練習日誌

● 9/1 (土) 大雨☔ 練習初日は体育館2階のボクシングリングの横のギャラリーで行った。OB9人(役員メンバー揃う)。



現役は中村団長、1回生の蓮池、松元さんの3人、所用で欠席はやはり1回生の市原君。「第一学生歌」「必勝の歌」を伝達する。そして田原坂の歌も歌う。基礎練習も押忍1、押忍2、お手々フリフリ、練習後の正座も取り入れた。演武の技術を教えるだけでなく、応援団の心意気を感じてもらえたらと思った。

参加したOBも夜の懇親会で満足そうだった。これまで教えたくても団員1名の状態が5、6年続き実行が難しかったが、やっと演武伝達の環境が整ってきた。現役も伝達を喜んでいて。これからも月2回のペース、とりあえず来年の3月まで行う予定。

● 9/17 (月祝) 午後2時に武夫原の片隅で練習開始。曇り空のため直射日光もなく暑さはなかった。OB7人、現役4人参加。今日のリーダーは渋谷さん、トラック300mをエイサー、ホイサーの掛け声で軽くジョッ



● 10/14演武伝達練習。OBは6人、現役は3人。最初は基礎練習、トラック300mのランニング、発声練習、押忍、しこ立ち、お手々ふりふり。OBの平均年齢は約60歳、現役は19歳かな？なんと40歳の年の差があるが、一緒に武夫原で声を出して演習することは楽しい。現役も自主練習を繰り返し行っているとのことで、上達の早さにビックリ。今日の新規演武は「第二学生歌」を伝達。リーダー予定の16代渋谷君が急遽欠席になったため、必死にHPのビデオを何度も鑑賞して一夜漬けでマスター。何とか、無事に「第二学生歌」の伝達を終えることができた。もちろん、復習もばっちり、演武の完成度も上がってきた。鼓手の松元さんも、OBの阿南君の指導でどんどん上達。

練習が終わって、芝生の上でミーティング。OBからは上達の早さ、団の雰囲気の良いとの意見あり。現役からは、自分たちが知らない演武や練習方法を教えてもらう感謝しているとのこと。我々OBは、昔々練習した武夫原で、40年以上の歳月が通り過ぎた今、若い人と一緒に声を張り上げて演武することの爽快感を味わっている。



グ。久しぶりに応援団の掛け声でのランニングだ。OBは呼吸も掛け声も乱れずに上出来。そして、クマダイファイト・オス、フレーフレークーマーダイ、お手々ふりふりと続く。

演武の復習の後は、田原坂の演武練習に取り組んだ。OBの調子は前回より疲労感もなく順調だ。終わったあとは、通町筋の大劇会館の地下の居酒屋で一杯飲んだ。演武の完全伝達までは、先が長い、すこしづつ前進していると思う。



● 9/29(土)の3回目の演武伝達練習、台風襲来の直前。学園大定期戦の開会式が14時から熊大体育館であり見学もした。中村団長、一年生の市原君、蓮池さん、松元

さん(鼓手)の4人、チアも6人ほど参加していた。マーチングメロディと武夫原頭、エールを演じ、見栄えも良く気合のこもった演武だった。その後に、演武伝達練習。会場は小体育室、昔々、演武会練習で夜の練習をしたところ。懐かしい。今日は50周年でリーダーをした戸上君(9代)と鼓手経験者の阿南君(9代目)も参加してくれた。必勝の歌、第一学生歌、田原坂はほぼ伝達終了。「易水流れ」と「わが熊大」の歌の練習もした。

終わったあとに簡単なミーティング。現役はこの伝達練習で活動の幅が広がったことを喜んでいて。学友にいつも声を掛けて団員勧誘をしているとの発言もあり、OBとして嬉しく思った。

● 10/28演武伝達練習報告。

現役は、3人が参加。OBは5人参加。今日は11/3のOB会に向けての最後の練習で、絞り込んだ演武を反復練習、復習をした。現役時代の練習と比べて今の練習は楽しい。練習ってこんなに楽しいかったけ？)



● 11/11(日) 6回目の演武伝達練習。長谷、阿南、柁島、中野の4人、現役は中村団長、市原、蓮池の3人。新たに「我が熊大」に取り組む。単純な動きだが、繰り返していると結構きつい。

腰に疲労がたまる感じ。続いて、目先をかえて実戦演武もやってみた。「でんでんむし」「Vサイン」…。ミーティングではOB会で感じたことを現役に訊いた。「多くのOBがバックをしてくれる中での必勝のリーダーは気持ち良かった。感動した」「OBの方にいろんな話を伺えて楽しかった」「まだまだ、OBに見せる演武じゃないので、もっと練習に励んでいきたい」

演武伝達練習は、まだまだ続く……。